



新たなニーズに対応した観光振興について（平成21年6月定例会）

高度経済成長期の当時と比べ、成熟期を迎えつつある現代では、人々の価値観やライフスタイルが多様化し、個性と真の豊かさを求める考え方が益々増えてきました。

これは人々の観光行動形態にも象徴的な変化を及ぼしています。すなわち、団体旅行から個人やグループでの旅行が主流となり、内容も、観光地や珍しいものをただ見て回る観光から、自らが参加し体験することや、興味や関心の強い事柄を旅で実践、学習することなどの体験交流型へ移行しつつあるといわれています。

「おいでませ！山口国体」に来られる観光客の方々に対し、前回の国体時期には目立たなかったこうした新しい旅行ニーズに応えるために、どういう仕掛けで満足度の高い旅を提案していこうとされているのか、お伺いいたします。

【二井知事答弁】

国内最大の総合的なスポーツの祭典であります国体は、本県の魅力を全国に発信をする絶好の機会でもあり、これを契機に、「年間観光客3千万人」を確かなものにしていきたいと考えております。

このため、新しい観光ニーズに沿った旅行商品づくり、ターゲットを絞った情報発信、リピーター対策の3つを柱に、戦略的に取り組むことにいたしております。

さらに、これを機に、山口県ファンをつくり、リピーターを増やしていくため、心をこめたおもてなしでお迎えするとともに、大会終了後に来県された際に、観光施設の割引など、様々な特典が受けられるような「ワンスモア山口チケット」というようなものの配付も考えております。

県といたしましては、国体は本県の観光振興を戦略的に展開する絶好の機会と考えております。官民一体となった「おいでませ山口観光キャンペーン推進協議会」を中心に、県を挙げて進めることによりまして、「おいでませ！山口国体」に全国から来県された皆様が、本県の魅力を満喫し、国体後も本県を訪れていただけるように、全力で取り組んでまいります。